

自尊感情尺度の2側面と自己愛的脆弱性の関連

○福留広大・森永康子
(広島大学大学院教育学研究科)

従来単因子構造とされるローゼンバーグ自尊感情尺度 (Rosenberg Self-Esteem Scale; RSES, Rosenberg, 1965) について肯定的項目群因子と否定的項目群因子の2因子を仮定し(それぞれ PSE, NSE), 自己愛的脆弱性との関連においてそれら2因子が弁別されうる可能性について報告する。PSE については, 小塩 (1997) によって(誇大性)自己愛と関連することが示されており, PSE は自己愛と .41 の正の相関を示し, NSE は .25 の正の相関を示していたが本稿では, 自己愛的脆弱性との関連について検討する。自己愛には無関心型(誇大性)と過敏型(脆弱性)の2種類があり, 自己愛者はこれらを両極にした連続体上, これらの混合型と表現され(小塩, 2011), 逆転済みNSEと脆弱性は負の相関関係にあると予想される。

方法

対象者 インターネット調査会社(楽天リサーチ)を通じ, 調査に参加した18歳から25歳の600名(男性300名)。平均年齢は22.57歳($SD=1.82$)であった。

調査時期 2017年1月に実施した。

質問項目 (a) 自尊感情尺度(山本・松井・山成, 1982; 山本, 2001)による10項目5件法を使用した。(b) 自己愛的脆弱性尺度短縮版(上地・宮下, 2009)の20項目5件法を使用した。下位4因子に, 承認・賞賛過敏性, 自己顕示抑制, 潜在的特権意識, 自己緩和不全がある。(b)については項目の提示順を参加者ごとにランダムとした。

結果

自尊感情尺度について従来の単因子モデルとPSEとNSEによる2因子モデルを仮定し, 確認

的因子分析を行った。その結果, 項目8が単因子モデルでは負の因子負荷量, 2因子モデルでは小さい負荷量となったため削除した。削除後の適合度は単因子構造で $\chi^2=815.055$, $df=27$, $p<.001$, CFI = .646, GFI = .702, RMSEA = .221, AIC = 854.055, 2因子構造で $\chi^2=180.554$, $df=26$, $p<.001$, CFI = .931, GFI = .931, RMSEA = .100, AIC = 218.554, であった。また, 自己愛的脆弱性尺度について十分な適合度が得られた($\chi^2=447.099$, $df=164$, $p<.001$, CFI = .955, GFI = .924, RMSEA = .054)。次に, 変数間の相関をTable 1に示す。SEとは, 自尊感情尺度を単因子構造とした場合の尺度得点であり, 本研究のPSE, NSEとの比較のために算出した。PSEは自己愛的脆弱性の下位因子のうち自己顕示抑制においてのみ有意な相関関係を示した。NSEは脆弱性合計と下位因子の全てにおいて, -.25から-.48の有意な負の相関関係にあった。SEと脆弱性は, 脆弱性合計と下位因子の全てにおいて, -.10から-.34の有意な負の相関関係にあったが, それぞれに対応するNSEと脆弱性の相関係数より小さい値であった。

考察

RSESの確認的因子分析の結果, PSEとNSEを仮定する2因子モデルが適合度の良いモデルとなった。また, 各変数間の相関分析により, 自己愛的脆弱性はNSEとの負の関連性が強く, PSEとは自己顕示抑制を除いて関連がなかった。したがって, NSEが高い人ほど脆弱性が低い, すなわち, RSESの否定的項目について「(自分に)当てはまらない」と答える傾向にある人は, 脆弱性の傾向が低いことが示された。小塩(1997)ではPSEと無関心型の自己愛の関連が, NSEとの関連よりも強かったが, 本研究では過敏型の自己愛はより明確に, PSEとではなく, NSEと関連していることがわかった。

付記

科研費(JP16J03013)の補助により実現した。

Table 1 RSESと自己愛的脆弱性(短縮版)の積率相関

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
(1) SE ($\alpha=.84$)							
(2) PSE ($\alpha=.83$)	.86 **						
(3) NSE ($\alpha=.83$)	.81 **	.40 **					
(4) 脆弱性合計 ($\alpha=.94$)	-.25 **	-.02	-.43 **				
(5) 承認・賞賛過敏性 ($\alpha=.85$)	-.32 **	-.08	-.48 **	.91 **			
(6) 自己顕示抑制 ($\alpha=.85$)	-.34 **	-.12 **	-.47 **	.82 **	.71 **		
(7) 潜在的特権意識 ($\alpha=.84$)	-.11 **	.06	-.27 **	.82 **	.68 **	.52 **	
(8) 自己緩和不全 ($\alpha=.87$)	-.10 *	.07	-.25 **	.86 **	.71 **	.54 **	.64 **

* $p<.05$, ** $p<.01$